

事業所名 放課後等デイサービス マミー沼津南

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7年

1月

29日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|------|-----|---------|---------|--|----|
| 法人(事業所)理念 | | 子どもたち一人ひとりに寄り添い、正しい支援、療育の提供を行う。 | | | | | | |
| 支援方針 | | ○利用者主体に向き合い、一人ひとり寄り添い、安心安全に笑顔で過ごせる環境をつくる ○利用者それぞれの課題・特性を理解し、協調性社会性を育て、将来自立した生活をおくれるように支援していく | | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分から | 18時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○健康状態(検温・顔色・ボディチェック・排便・睡眠など)や心身の状態(機嫌・表情・言動など)観察し、変化に気付くように心がけます。 ○生活のリズムの安定、日常生活動作のスキルアップにつとめます(食事のマナー・トイレトレーニング・挨拶など) | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ○ラジオ体操(上肢下肢の運動)などをとおし、身体と心のバランスコントロールを図ります。 ○五感を使ったレクリエーション(粘土・リトミック・クッキング・工作など)や、目と手や身体と一緒に動かす練習をします。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | ○当日の日付・曜日・天気・利用者・支援員・予定など、視覚でわかるよう掲示します。 ○タイマーを使用して活動の切り替えを視覚と聴覚にて促します。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ○集団遊びの中で自分の考えを相手に伝えたり、人との距離感を学べるように支援します。 ○個々の特性に応じてマカトン・言葉・絵カード・身振りなどでコミュニケーション手段を活用します。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ○スキンシップ遊び等を通して、アタッチメントの形成を図り、情緒の安定を目指し安心して過ごせるよう支援します。 ○「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「謝罪」など、社会生活で活躍できるスキルを身につけ、自分も相手も大切にしたい行動ができるよう支援していきます。 | | | | | | |
| 家族支援 | | いろいろな生活(家庭・学校・放課後等デイサービス)や活動の中で、利用者が穏やかに過ごし楽しみを見つけていけるよう、ご家族の方とコミュニケーションをとって支援していきます。 | | | 移行支援 | | 主に卒業後の進路について学校・相談支援所との連携を取りながら、利用者のライフステージの変化に合わせた支援を行います。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 地域の行事等に積極的に参加し、施設や利用者の存在の周知と理解に努めます。 | | | 職員の質の向上 | | 職員会議(月1回)・ケース会議(常時)・勉強会(随時) 行事企画立案および実施 | |
| 主な行事等 | | 年間を通じての季節の行事(節分・お誕生日会・クリスマス会など) エスパルスサッカー教室・ヘアカットボランティアによるヘアカット・買い物学習、避難訓練など | | | | | | |